

化学療法センター／腫瘍内科

a. 体制

化学療法センターは専従の医師（腫瘍内科）、看護師、薬剤師及び事務員が協働し、各診療科からオーダーされる外来化学療法を実施する部門である。

【施設概要】

1階旧化学療法センター（2022年1月28日まで）

- ① 診察室 2室
- ② 受付 腫瘍内科および化学療法センター受付
- ③ 患者待合、家族待合
- ④ 治療室 病床数26床（リクライニングチェア21床、ベッド5床）
- ⑤ 薬剤部調製室 安全キャビネット2台（2人用）

6階新化学療法センター（2022年1月31日より）

- ⑥ 診察室 3室
- ⑦ 受付 腫瘍内科および化学療法センター受付
- ⑧ 待合
- ⑨ 治療室 病床数34床（リクライニングチェア27床、ベッド7床）
- ⑩ 薬剤部調製室 安全キャビネット3台（2人用2台、1人用1台）

【医師】

スタッフ：

西村 貴文（化学療法センター長・腫瘍内科部長）

資格：日本内科学会総合内科専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医

専門領域：がん化学療法一般

足立 靖樹 医員

富田 和輝（内科専攻医）

大森 怜於（内科専攻医）

天野 佑美（内科専攻医）

主な業務内容：

①各診療科と連携し、化学療法センター内に併設した診察室で化学療法に関する診察（オーダー・検査結果確認・投与可否判断・副作用対策など）を行う。また各診療科と共同して治療効果の判定を行い、治療方針の決定に関与する。

②化学療法に関する各診療科からのコンサルテーションに対応する。

③治療室内での緊急対応（アレルギー・ルートトラブルなどに対する対応）を行う。

④看護師・薬剤師と連携して化学療法レジメン作成を支援する。

【看護師】

スタッフ：

江口美華（師長）、牧瀬亜里（主任・専従・がん薬物療法看護認定看護師）、松永優子（主任・専従・がん化学療法看護認定看護師） 築田知咲（専従）、柏原知明（専従）、藤川理恵（専従）、小野山侑枝（専従）、元田美穂（専従）、高見悠（専従）、兵庫陽子（専従）

主な業務内容：

- ① 新規外来導入患者を対象に、事前の情報確認・化学療法に関連する指導及び説明を行う（オリエンテーション）
- ② 外来化学療法の実施前に患者情報の確認を行う（病名・レジメン・血管確保の方法・CVポートの有無および状態・アレルギーの有無およびリスク・日常活動度 ADL など）。リスクや ADL に応じて治療ベッドの配置を決定する。
- ③ 外来化学療法の実施。薬剤確認、血管確保、投与管理など
- ④ 副作用の確認と生活指導を行う。
- ⑤ 輸血・補液・中心静脈ポート抜針など化学療法に関連する処置を行う。
- ⑥ 腫瘍内科・薬剤部と連携して化学療法レジメンの作成を支援する。

【薬剤師】

石川弘子（副センター長・薬剤部副部長兼務）

三宅麻文（日本医療薬学会がん専門薬剤師・薬剤部副部長長兼務）、水田純平（日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師・薬剤部係長兼務）、近藤篤（日本医療薬学会がん専門薬剤師 日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師・薬剤部主任兼務）、辻屋朝美、（薬剤部主任兼務）

小角早織

主な業務内容：

- ① 化学療法実施前日までにレジメン監査・調剤および疑義紹介を行う。
- ② 医師からの調製確定指示に基づき、抗がん剤の調製を行う。（入院および外来）
- ③ 新規レジメン或いは薬剤外来初回導入に対し、患者に薬剤説明および指導を行う。
- ④ 化学療法レジメンを作成し、電子カルテにプログラムする。

【受付事務】

スタッフ：

ソラスト(株)より派遣 2 名

主な業務内容：

- ① 外来化学療法患者および腫瘍内科外来受診患者の受付および案内を行う。
- ② 院内および院外からの電話対応を行う。
- ③ 各種文書の処理を行う。

b. 診療実績

2021年4月～2022年3月の診療実績は以下の通りであった。

① 腫瘍内科外来

外来患者診察総数 6046件

(入院中外来含む、静脈ポート抜針除く)

外来化学療法実施件数 2712件

治療室対応 153件

年次推移

年度	2013	2014	2015	2016	2017
外来患者診察総数*	3042	6112	7393	6493	6347
外来化学療法実施	1477	2269	2668	2365	2292

年度	2018	2019	2020	2021
外来患者診察総数*	6311	5596	6095	6046
外来化学療法実施	2460	2348	2766	2712

*入院中外来含む、静脈ポート抜針除く

② 外来化学療法実施件数

診療科別内訳

	各科実施件数 (内腫瘍内科担当)
血液内科	499 (0)
呼吸器センター内科	1215 (1171)
呼吸器センター外科	194(27)
消化器センター内科	880(89)
消化器センター外科	1577 (833)
乳腺外科	964(35)
産婦人科	436 (39)

腎泌尿器センター外科	343 (314)
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	130(126)
脳神経外科	35 (0)
小児科	66 (21)
腫瘍内科	126
全体	6252 (2712)

オリエンテーション実施件数 398 件

③ 抗がん剤調製件数（化学療法加算）※ゾマ注、ベルケト[®]皮下注、ミトキサート筋注など以外

全体 9546 件

外来 6252 件

入院 3294 件（休日含まず）

④ 外来薬剤説明実施件数 353 件

⑤ 化学療法レジメン作成数 64 件

血液内科 10 件

呼吸器 10 件

消化器 17 件

乳腺外科 3 件

婦人科 13 件

泌尿器科 3 件

耳鼻科 1 件

小児科 1 件

皮膚科 0 件

腫内科 4 件

脳外科 1 件

腎内科 1 件

c. 学会・講演・著作その他の研究活動

【学会】

- 1 富田和輝、大森冷於、足立靖樹、林 優介、西村貴文
ペムブロリズマブ治療中に発症し、ステロイド治療で寛解した口腔粘膜炎の一例 (P45-3)
第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会2022/2/18 (京都)
- 2 足立靖樹、西村貴文
膝癌に対するゲムシタビン治療中に発症した手指末梢循環不全の 1 例
第233 回日本内科学会近畿地方会 2021/9/11 (Web)

【論文】

(症例報告)

- 1 Maetani T*, ..., Nishimura T, ..., Fukui M.
Durvalumab-associated late-onset myocarditis successfully treated with
corticosteroid therapy. *Intern Med*.
2022 Feb 15;61(4): 527-531. (査読有り)

【研究】

- 1 がん化学療法における有害事象に関する臓器横断的研究 (西村貴文)